

関東ふれあいの道を歩く (3) 神奈川 (③荒崎・潮騒のみち)

2019年4月17日池内淑皓

2019年3月24日(日)午前中、神奈川(②油壺・入江のみち)を歩き、三崎口駅へ昼にゴールした。

時間も充分あるので、午後は引き続き神奈川(③荒崎・潮騒のみち)を歩くことにした。

三崎口駅から(③荒崎・潮騒のみち)へはガイドブックによれば、最寄りのスタート地点へバス移動であるが、私は関東ふれあいの道は、基本的に歩き通す事を前提に進めたいので、最寄りの下車駅である「矢作」バス停まで歩き通す。



(③荒崎・潮騒のみち) 歩行概念図 (青文字)

[首都圏自然歩道連絡協議会]

スタート：矢作バス停、ゴール：長井バス停 (7.7km・2時間15分) の距離だ。



12:30 三崎口駅前から、引き続き国道134号線を歩く



坂道を下って 1.6 km、約 20 分で矢作バス停に着く



バス停の前から西に向かって狭い路地を行く、円徳寺の看板が目印



海岸に出る前に、「和田・長浜海岸へ」の道標に導かれて右折する



「円徳寺」日蓮宗

角を曲がり突き当たると、お寺の正門に出るからお参りして、境内を横切る



お寺の裏には洞窟があって、多くの石仏が祀られている（妙法経窟門）



「和田・長浜海岸」



岩礁が混じる砂浜を歩く。乾いた砂は歩きにくいので、浪打際を歩くと良い



夏になると、多くの海水浴客で賑わう事だろう



砂浜が終わり、岩礁地帯に入ると、道標が現れる。



道標と、里程標



御幸浜へ 5.6 k m、矢作へ 2.1 k m 砂に埋もれてしまわないか気になる



佃嵐崎の岬を横切り、浜に下ると岩礁地帯の歩行が待っている。



右は砂岩・礫岩、左は大陸プレートの火成岩、岩の質が全然違う



荒崎となれば、多くの観光客が磯遊びに来るから、足場もきちんと整備されている



磯の匂いがプンプン、潜ればサザエ、あわびが採れるだろうな



悠久たる自然の成せる技。第三紀の泥岩・礫岩の地層が隆起して、太平洋プレートや伊豆半島の衝突の力で褶曲した。天然記念物クラスだね



子供でも歩けるように散策路となっている。今日は大潮であるから潮が引いている



「荒崎の弁天島」潮が満ちれば島となるのであろう。素敵な景色だ



弁天島を過ぎれば、道標に従って岩礁地帯は終わる



道は、城山展望台・荒崎公園に向かう



荒崎公園には、快適なトイレと休憩場所があるから、ひと休みには丁度良い



宮の村浜を通れば、今回のコース終点”荒崎バス停”に着く。



「長井バス停」疲れたけれど漆山湾を通り、長井漁港を抜けて、直角に

東に曲がり、富浦の公園内を歩くと、国道 134 号線に出るから、長井バス停まで歩く



三崎口駅到着は 15 時 50 分であった。

三崎口→矢作→田嶋岬→荒崎→長井→三崎口駅 12 k m、3 : 10

この項完

関東ふれあいの道を歩く (4) 神奈川 (④佐島・大楠山のみち) に続く